

【小学上級以上むけノンフィクション】

信号待ちをしていた祖父母と孫に突っ込んだ無謀運転の車  
理不尽に奪われた子供の命の尊厳を取り戻すべく、遺族はたたかった  
そして、そんな彼らを癒やし、支える愛犬が実在する  
交通事故は人々からなにを奪うのか。すべてのこどもたちに伝えたい

11月末発売予定!

# 柴犬マイちゃんへの手紙

無謀運転でふたりの男の子を失った家族と愛犬の物語

柳原 三佳(ノンフィクション作家)

予定価：本体 1200 円(税別)・四六判上製・192 ページ・小学上級以上



柳原三佳

いのちの大切さを知っているきみに、読んでほしい

遺族に  
生きる勇気を与えた  
一通の手紙とは……

悲しみと  
ともに  
生きていく



●著者/柳原 三佳 (やなぎはら みか)

1963 年生まれ。交通事故、司法問題がメインテーマ。主な著書に『示談交渉人 裏ファイル』(共著、角川文庫)、『家族のもとへ、あなたを帰す ～東日本大震災犠牲者約 1 万 9000 名、歯科医師たちの身元究明』(WAVE 出版)、『巻子の言霊～愛と命を紡いだある夫婦の物語』(講談社)、『遺品 あなたを失った代わりに』(晶文社) など。『示談交渉人』は TBS でドラマシリーズ化、『巻子の言霊』は NHK でドラマ化された。

2010 年 12 月 26 日、歩道で信号が青になるのを待っていた祖父母と二人の孫、そしてあと一日遅ければ殺処分というタイミングで保健所から引き取られた柴犬マイちゃん。そこに、大音量でかけたラップ音楽に合わせて体を揺らしながらジグザグ運転する乗用車が突っ込んだ。過失割合が 100% という無謀な運転で、幼い二人の命が奪われたのだ。

休みのたび、祖父母の家でマイちゃんに会えるのを楽しみにしていた、いとこ同士の二人は、犬をはさんで川の字になって寝るほど仲がよく、祖父母は「三人は本当の兄弟みたいだね」と目を細めた。その幸福を一瞬で奪ったドライバーに対して、交通事故ではもっとも重い刑罰が与えられる危険運転致死傷の罪に問えるかどうかの裁判が始まったのだが……。

一方、事故で生き残り、孫の死に責任を感じ続ける祖父母を癒やしたのもマイちゃんだった。そして、癒えることない悲しみとともに生きる決意をした遺族が、気力を振り絞って開いた遺品の中から、二人がマイちゃんに宛てた手紙が見つかった――。

切り取り

◆お客さまへ……この注文書をお近くの書店にお持ちください。

※ご記入いただいた個人情報、今回のご注文以外の目的には使用いたしません。

注文書	『柴犬マイちゃんへの手紙 無謀運転でふたりの男の子を失った家族と愛犬の物語』 柳原 三佳・著 ISBN978-4-06-218637-7 定価:本体1200円(税別)		書店印
	ご注文数		冊
	お名前	お電話	
	ご住所		

※お近くに書店がない場合、小社業務委託先「ブックサービス」にてご注文いただけます。フリーダイヤル0120-29-9625(受付時間9:00~18:00)

【本書のないようについてのお問い合わせ先】電話03-5395-3535 講談社 児童図書第一出版部

◆書店さまへ……ご注文は講談社総合受注センターまでお願いいたします。